

社協だより



美々津小学校5・6年生地域を基盤とした福祉教育プログラム2024

「美々津サミット」

子どもと未来を創造する～福祉と教育の協働～



1年間の地域福祉実践報告



地域課題について考える



美々津地区の未来を検討する

本会では、美々津小学校5・6年生と協働して「地域を基盤とした福祉教育」に取り組んでいます。昨年度は6年目の活動として、総合的な学習の時間を活用し、全16回35単元の授業を実施しました。

最後の授業では、美々津小学校区域内外に在住の地域住民、福祉関係者等が参加し、「美々津サミット」を開催しました。「美々津サミット」では、① 児童による1年間の地域福祉活動実践報告 ② 参加者（地域住民・福祉関係者等）が美々津地区の地域課題について検討する ③ ①と②の内容から児童と参加者との協議の場を設け、美々津地区の未来の姿の検討を行いました。

本会の取り組む「地域を基盤とする福祉教育」では、「地域から児童が学ぶ」「児童の学びを通して地域が学ぶ」というように世代を超えて、「お互いに学び合う」ことが児童・地域の学びの深化に繋がります。複雑多様化している地域社会の中で、『地域で福祉の心を育むこと』はとても大切なことと考えています。

本会はこれからも美々津地区だけでなく、市内各学校・地域で「地域を基盤とした福祉教育プログラム」を推進していきます。

市内の他の学校でも福祉教育に関する取り組みを行っています。4ページをご覧ください。

美々津小学校5・6年生地域を基盤とした福祉教育プログラム 各グループの地域福祉活動実践紹介！！



石並Fukushi隊
地区の避難場所を伝えたい！



幸協安全調査隊
避難経路について伝えたい！



別府いい所調査隊
供養盆踊りを継承する！



立縫・新町幸せ調査隊
清掃に若者を増やしたい！

令和7年度社会福祉協議会運営方針

日向市においては、少子高齢化や人口減少という構造変化に伴い、多くの地域で生産年齢人口が減少し地域経済に大きな影響を与えています。地域では核家族や独居世帯が増える一方で、地域社会の担い手不足や住民同士の関係性の希薄化が顕著に現れています。また、南海トラフ地震も30年以内の発生率が80%程度に引き上げられ、大規模災害がいつ発生してもおかしくない状況にあります。災害時に備えた日頃からの福祉のまちづくりも喫緊の課題となっています。

(1) 本会の目指すもの

本会は「ともに生きる豊かな地域社会の実現」を目指しており、それは将来にわたって「安心して暮らすことができる日向市の実現」にあります。そのために世代や分野を超えて誰もがつながり、住民一人ひとりが役割や生きがいを持って地域活動に参画できる「地域共生社会の実現」を推進していきます。

(2) 取組み

地域に暮らす住民がどのような生活環境に置かれていても安心して暮らすことができる包摂的社会を目指して、以下の取組に努めてまいります。

- ①地域に潜在化している生活課題の把握と解決に向けた相談援助機能の強化
- ②百歳体操等を通じた地域住民の健康寿命を延伸する取り組み
- ③地域住民一人ひとりが自分の力で物事を判断・行動し、自分の地域に誇りを持って活動できる人材を育成する福祉教育の推進

また、台風や南海トラフ地震などの自然災害に対応するため、平常時より災害に強い福祉のまちづくりに努めてまいります。関係機関と協働した災害ボランティアセンター運営の取り組み、災害時復興期の支援体制の構築に取り組みます。

(3) 市民に信頼される持続可能な法人運営の基盤づくり

本会が市民から信頼され、法人の使命である「ともに生きる豊かな地域社会づくりの推進役」として、その機能を発揮できるよう、経営・執行体制の見直しを図り、支出の改善と収入の確保に努め、既存事業の見直しや新規事業の創出などを行い、収支不足の財政体質を改善し、安定的、継続的、効率的な組織経営の基盤整備に取り組みます。

そのためにも中長期的な展望に立って経営の安定と改善を図ることを目的とした経営改善計画（仮）を策定し、本会が進むべき方向性を明らかにし、役職員一丸となって取り組んでいきます。経営理念・基本方針は昨年と同じです。

< 経営理念 >

- ①地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- ②誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活をおくることができる福祉サービスの実現
- ③地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- ④地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創出
- ⑤持続可能で責任ある自律した組織経営

< 基本方針 >

- ①地域に開かれた組織として、経営の透明性と中立性、公正さの確保を図るとともに、情報公開や説明責任を果たし、地域社会の支持・信頼を得られるよう、積極的な情報発信を図る。
- ②事業の展開にあたって、「連携・協働の場」（プラットフォーム）としての役割を十分に発揮し、地域住民や関係機関・団体等、あらゆる関係者の参加と協働を徹底する。
- ③事業の効果測定やコスト把握等の事業評価を適切に行い、効果的で効率的な自律した経営を行う。
- ④すべての役職員は、高潔な倫理を保持し、法令を遵守する。

(4)6つの重点事業

令和7年度は、以下の6つの重点事業を柱に地域福祉を推進し、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会（SDGs）」の実現に努めます。

重点事業1 重層的支援体制整備事業

地域住民の複雑化・複合化した生活課題に対し、専門職による包括的な支援と地域住民の主体的な活動の協働によって解決できる支援体制を構築し、地域共生社会の実現を目指します。

重点事業2 生活支援サービス体制構築等推進事業

日向市内6圏域に生活支援コーディネーターを配置し、地域住民を含めた多様な主体による生活支援サービス提供体制の構築を行い、地域生活課題の解決に取り組みます。

重点事業3 認知症地域支援体制構築等推進事業

「安心して、認知症になることができるまちづくり」のために、医療・福祉・地域が連携し、認知症当事者やその家族を地域で支えるための体制づくりや、認知症当事者の支援から地域共生社会の実現を目指す地域づくりを推進します。

重点事業4 生活困窮者自立支援事業

地域で自立した生活を送ることが困難な個人や世帯に対して、総合相談体制の強化を図り、自立した生活を送るために必要な支援を行います。

重点事業5 権利擁護支援体制整備事業

長寿高齢社会の進展に伴い判断能力が不十分で日常生活での支援が必要な方々が急増している現状に対して、日常生活自立支援事業、法人後見体制整備支援事業の支援体制の整備・充実に努めてまいります。

重点事業6 中山間地域福祉推進体制事業

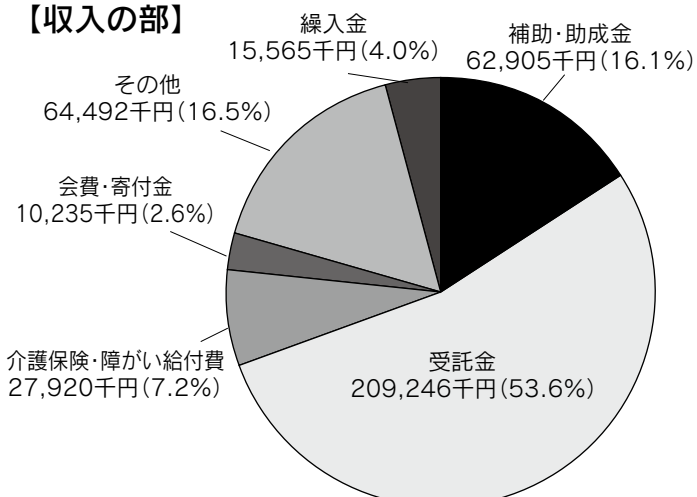
人口減少による超高齢社会、地域の担い手不足等の中山間地域特有の生活課題に対し、日向市作成の「日向市東郷地域振興計画」に基づき、行政と共に課題の抽出に取組み、地域住民を主体とした支援に引き続き尽力していきます。

令和7年度収支予算の概要

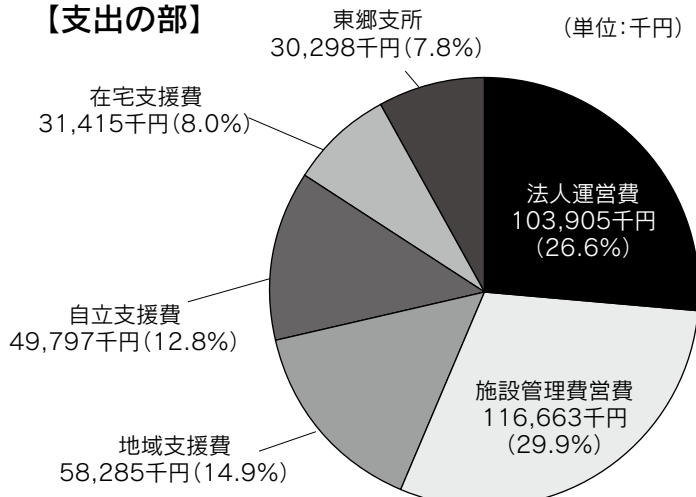
令和7年度の予算総額は3億9036万3千円になりました。昨年と比較し建物の改修費等の自主財源を減額しているため、総額は減少しましたが、科目ごとには増額の予算編成になっています。増額の内訳は、物価高騰や働き方改革、最低賃金の改正等に伴う人件費の見直しが中心になります。

◎令和7年度	当初予算総額	390,363千円		
(財源内訳)	◆補助・助成金、受託金等	272,151千円	(前年度比 3.4%増)	8,869千円増
	◆自主財源(会費・寄付金等)	118,212千円	(前年度比 約26.8%減)	43,412千円減

【収入の部】



【支出の部】



令和6年度 福祉教育

本会では、日向市内の小・中学校、高等学校を対象とした福祉教育を実施しています。学校からの依頼をもとに、福祉教育担当教諭と打ち合わせを行い、学校や地域の状況・特性に合わせた福祉教育プログラムの作成、提案、実施を行っています。

福祉教育プログラムの1つとして「地域を基盤とした福祉教育プログラム」があります。このプログラムは、「ふくし」や地域について理解し、自分たちが暮らす地域をより良くしていくためにできることについて考え、実践するという取り組みです。子どもたちは、「ふだんのくらしをしあわせにするために!」「動けば変わる!」を合言葉に1年間をかけて学習を進めてきました。

令和6年度の学校や地域に合わせた福祉教育の取り組みや、その学習の成果についてご紹介します。

塩見小学校6年生

塩見小学校では、6年生を対象に福祉教育を実施しており、今年で5年目の取り組みになります。昨年度も6年生21名が塩見地区をより良い地域にするため、地域課題の解決にチャレンジしました。

地域福祉活動報告会

令和7年2月21日(金)に「地域福祉活動報告会」を開催しました。保護者や活動に協力していただいた方々を招いて、1年間の学習の成果を報告しました。パワーポイントを使って、グループで協力しながら堂々と発表している姿や、参加者に感謝の気持ちを伝える場面など、子どもたちの大きな成長を感じられました。



発表の様子



報告会の様子

参加者の感想・子どもたちへのメッセージ

- 主体的な姿勢で取り組む子どもたちの姿は将来の希望そのものだと感じました。
- 大人でも気づいているけど、見て見ぬふりをする人がたくさんいます。そんな中子どもたちがこうして行動している姿を見て、大人ももっと行動に移すべきだと思いました。
- 1年間を通して様々な「ふくし」に取り組めたことで親子で福祉や災害に関する会話が增えました。
- 学んだこと、経験したことをこれからも忘れないでほしいです。

福祉教育は、学校・地域相互に学びのある取り組みです。子どもたちのチャレンジが地域住民の心を動かすことにも繋がっています。今年度も学校や地域の状況・特性に合わせた福祉教育の実施に向けて学校・地域とともに取り組んでいきます。福祉教育へのご理解・ご協力をお願いいたします。

担当:林・藤田

細島小学校4年生

細島小学校4年生を対象とした福祉教育プログラムを実施しました。細島小学校ではこれまでも継続して福祉の学習を進めてきましたが、令和6年度はまちづくり協議会や見守り隊の協力を得ながら、自分たちの地域を調査する活動を行いました。



ふくしって何だろう?



見守り隊と地域調査



地域診断書作成



地域調査活動報告会

参加者の感想・子どもたちへのメッセージ

- 改めて子どもの目線に考えさせられることがありました。学習の一環として目的を持って地域の方と接することは、非常に有意義だと思います。
- 子どもたちが細島を歩いて、地域の方々から話を聞いていろんなことを感じたことは良かったと思う。自分たちが生まれ育った細島に誇りを持って育ててほしい。
- 地域調査は今回だけでなく、来年、細島地区がどう変わっているか調査をしてほしい。

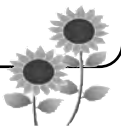
令和6年度生活支援サポーター養成講座を実施しました！

全3回の養成講座は、地域活動の担い手となる生活支援サポーターを養成することを目的としたものです。日向市の介護予防や介護保険制度、認知症に対する正しい理解、地域での支え合いについて学び、講座修了後（登録者）は、生活支援サポーターとしての実践活動とおし、自身の社会的役割を理解し、生きがいや介護予防にも繋がります。



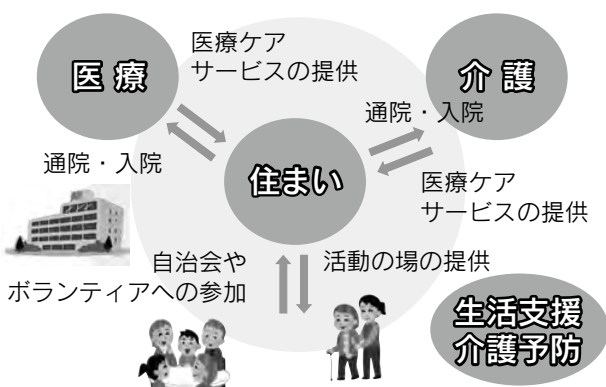
<p>第1回 2月12日(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サポーターオリエンテーション ・日向市の介護予防と介護保険(日向市高齢者あんしん課 西田陽子 氏)
<p>第2回 2月19日(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の正しい理解とその対応(日向市認知症初期集中支援チーム 桜川淳也 氏) ・日向市の認知症事業について
<p>第3回 2月26日(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修了証授与 ・講座の振り返りと今後の活動について

※令和6年度は22名が生活支援サポーターとして新たに登録されました！



受講者の声

- フレイル(加齢による心身機能の低下) 予防のために、生活支援サポーターの役割が大きいことを感じます。
- ひとり暮らしの方の困りごとなど、コミュニケーションをとりながら理解していけたらと思います。
- 地域で孤立する人がいないように、見守りをしたいと思います。
- 地域の高齢化の問題等について、改めて考えました。今、取組んでおかないといけないとリアルに思います。
- 認知症に対する考えを新たにしました。認知症サポーター養成講座を受講するたびに、勉強になります。今後は今日の学びを実践しようと思います。
- 認知症について、悪い思い込みがなかったか？など理解、勉強になりました。
- 「認知症初期集中チーム」のことを初めて知りました。



日向市では、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される“地域包括ケアシステム”構築の実現に向けて多方面から取り組んでいます。今回実施された『生活支援サポーター養成講座』もそのひとつです。現在、57名の生活支援サポーターがサロン、百歳体操、移動支援や簡易な家事支援の有償ボランティア等で活動中で、一期生は既に7年間の実績があります。日向市の介護予防活動において、おおきく貢献していただいています。

担当：赤木

日向市社会福祉施設等連絡会 部会別研修報告



日向市社会福祉施設等連絡会（以下「施設連」）は、高齢者施設部会と障がい児者部会の合同で研修会を開催しました。

施設連では、自分たちの資質向上を目的に、自主的にテーマを選び、毎年度、全体や部会別、または部会合同で研修会を実施しています。

今回、高齢者施設部会と障がい児者施設部会は「ICTを活用した業務改善」をテーマとして、合同で研修会を開催しました。

超高齢化社会に向かっている日向市ですが、その一方で、福祉現場では人材が不足しています。人材の不足により、職員が疲弊し、事故や職員の離職に繋がる可能性もあります。その結果、さらにサービスの質が低下するという悪循環につながりかねません。今、ICT（情報通信技術）の活用は業務改善のひとつのカギとなっていますが、機器の導入コストや、操作に対する職員負担など、多くの課題があります。そこで、本研修では、実際に導入している事業所から、具体的な事例を紹介してもらい、お互いに学び合うスタイルとしました。

研修会は令和7年2月10日（月）、日向市総合福祉センター2階の集会室にて開催しました。

- ①「グループウェア等を活用した事務改善について」発表：日向市役所福祉課
- ②「障害福祉システムによる業務の効率化」発表：障がい者支援施設しおみの里
- ③「介護ロボットによる介護業務負担軽減」発表：特別養護老人ホーム立縫の里と、三者に発表をしていただき、ICTを活用した業務効率化やサービスの質の向上に資すること、効率的な情報共有や業務管理、スタッフの負担軽減など、ICTの活用がもたらす多くの利点について学びあいました。今後も施設連では、様々な企画によって、職員のスキルアップや人権の確立、地域福祉の実現に向けた研修会を継続的に開催していきます。

担当：黒木



ボランティア活動をしている皆さん!!

ボランティア保険への加入手続きはお済ですか？



ボランティア活動中の様々な事故に備えて、ボランティア保険に加入しましょう。

ボランティア活動保険

【特徴】

日本国内でのボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々を対象とした保険です。

【補償期間】

令和7年4月1日～令和8年3月31日
※手続きが完了した日の翌日から補償開始

【保険料】

- 基本プラン … 350円
 - 天災・地震補償プラン … 500円
- ※ 1名あたりの年間保険料

ボランティア行事用保険

【特徴】

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う各種行事における様々な事故に対する保険です。

【補償期間】

行事開催期間中

【保険料】

- 宿泊を伴う行事 … 241円～354円
 - 宿泊を伴わない行事 … 28円～248円
- ※ 1日・1名あたりの保険料
※ 行事の内容、宿泊日数によって保険料が異なります

詳しくは、担当者までお問い合わせください。

尚、ボランティア保険に加入する団体は、ボランティア・市民活動センターへの登録が必要になります。センター登録の手続きをお願いいたします。

担当：藤田

じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひちやじどうせんたー
日知屋児童センター ☎：52-8443

5月13日(火)

『親子でリズム遊び♪リトミック』(小)

☆音楽に合わせてリズムカルに
 体を動かしましょう♪

☎時 間：
 10：30～11：30
 ☎定 員：親子15組



5月16日(金)

『避難訓練(地震・津波)』(全)

☆地震・津波が起きた時のために、避難経路の確認をしよう!

☎時 間：15：00～16：00
 ☎定 員：なし

6月7日(土)

『運動あそび♪』(小)

☆スポーツクラブの先生と、
 たくさん体を動かそう!

☎時 間：14：00～15：00
 ☎定 員：35名



6月21日(土)

『手形・足形アート』(幼)

☆大人気の手形・足形アートでかわいい成長記録を
 残してみませんか?

☎時 間：
 10：30～11：30
 ☎定 員：親子7組



だいおうだにじどうかん
大王谷児童館 ☎：66-1177

5月14日(水)

『ちびっこ運動会』(幼)

☆はいはいかけっこ♪よーいドン!
 ミニミニ運動会を楽しみましょう♪

☎時 間：10：30～11：30
 ☎定 員：親子15組



5月19日(月)

『安全教室(地震避難訓練)』(全)

☆「自分の身を守るためにどうしたら良いか」を一人ひと
 り真剣に考えてみましょう。

☎時 間：
 15：30～16：30
 ☎定 員：なし



6月7日(土)

『たのしいおはなし会』(幼・小)

☆福井幸子さんと高校生による読み聞かせです。
 絵本や紙芝居の世界を楽しみましょう♪

☎時 間：
 10：30～11：30
 ☎定 員：30名



6月21日(土)

『陶芸家あつまれー!』(小・中・高)

☆陶芸家になった気分で、世界に一つだけの自分の
 作品を作ってみよう!

☎時 間：
 14：00～15：30
 ☎定 員：30名



利用時間

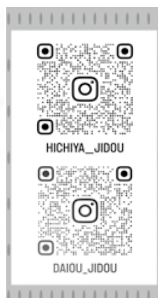
幼児親子	9:00～12:00	13:00～17:00
一般児童	10:00～12:00	13:00～17:00

(15分前から片付けをします)

開館日 日曜日・祝祭日
 年未年始(12月28日～1月4日)

地域・校区に関係なく、18歳までの児童・生徒は
 自由に利用できます。

Instagramで
 情報発信
 しています♪



行事はいずれも無料で参加できますが、必ず事前
 にお問合せください。
 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

※対象者の表記について

- ・幼・・・幼児親子
- ・小・・・小学生
- ・中・・・中学生
- ・高・・・高校生
- ・全・・・幼児親子、小学生、中学生、高校生

おいしいお弁当とつながりをお届けします

見守り型配食サービス

社会福祉法人 日向市社会福祉協議会

個別対応可能

減塩、刻み食、食物アレルギー、簡易な服薬管理など
健康状態や生活状況に合わせた対応も可能です。
ご相談ください。

負担額

一食あたり**450円**です。



お弁当の対象になる方

市内に居住する概ね65歳以上の高齢者世帯(またはこれに準ずる世帯)で、安否確認の必要な方。(市の承認が必要です)

※社会福祉協議会では直接受け付けはできません。
以下の手続きが必要です。

申請の手続きについて

手続はケアマネージャー、地域包括支援センターをとおして行います。

介護保険サービスを受けている方

介護保険サービスを受けていない
65歳以上の方

担当ケアマネージャーにご相談ください

地域包括支援センターにご相談ください

日向市社会福祉協議会 配食サービス

◆◆◆ ご寄付者紹介 ◆◆◆



(株)協同サービス住宅協力会様の解散に伴い残った会の活動費をご寄付いただきました。ありがとうございました。

〔発行者〕



社会福祉法人
日向市社会福祉協議会

〔日向市生活相談・支援センター心から〕
〔日向市ボランティア・市民活動センター〕

〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。奇数月に発行。



この情報紙は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

令和7年2月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
柏田 修子	柏田 勝昭	幡 浦
葉上 三千代	葉上 普大	大王谷
吉岐 悦子	白川 ユミ子	金ヶ浜
松木 幹夫	松木 トヨ子	権現原
竹井 史旺	竹井 悠子	庄 手
岩本 真弓	岩本 信行	永 江
小松 祥子	小松 良二	往 還
御手洗 克明	御手洗 トミ子	下原町
飛高 育朗	飛高 敏子	小野田
山口 さつき	山口 智	坪 谷
徳永 政文	徳永 俊夫	切島山1
田口 照美	田口 豊	仲 深
後藤 恵子	後藤 孝市	下原町
河野 浩之	河野 誓記	山 下
田中 陽子	田中 利勝	上原町

〈一般寄付金〉敬称略

令和7年2月分

氏名	金額
日向市役所部課長親交会 会長 若藤公生	金 一 封

〈物品寄贈寄付者〉敬称略

令和7年2月分

氏名	地区	物品
葉上 三千代	大王谷	肌 着

〈香典返し〉敬称略

令和7年3月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
春木 近志	春木 トシ子	比 良
河野 ちよか	河野 修	公園通り
三輪 寿子	岩見 ツヤ	堀 一方
那波 欽也	那波 由紀子	笹野東
黒木 徳一	黒木 義夫	庄 手
笹井 里美	成合 敏	向江町
菊池 弘子	菊池 巖	東草場
安藤 嘉弥	安藤 郁子	石 並